

高田馬場駅周辺エリア まちの将来像の実現に向けて検討を開始します

高田馬場駅周辺の交通環境や駅舎、駅前空間の課題解決に向け、駅からまちへと広がる活気あふれる駅前づくりや、ユニバーサルデザインに配慮した誰もが通行できる道路づくりなど、検討を行っていきます。

まちづくりの契機

更新時期を迎えた高田馬場駅周辺

高田馬場駅は、鉄道3路線が乗り入れ、約93万人/日と乗降客数が多い国内有数の駅ですが、乗換え利便性、交通環境、駅前広場の改善など、多くの課題があります。

バリアフリー化の一層の促進

鉄道3社間の乗り換えや、駅周辺の多数の福祉施設の利用者にとって、さらなる安全な歩行空間の確保が必要です。

地域をとりまく環境の変化

近隣の開発により、地域内の歩行者が増加しています。また、補助第72号線(つつじ通り)の開通及び補助第74号線(諏訪通り)の整備に伴い、交通量の変化が予想されます。駅周辺の歩行者空間の不足や駅の戸山口の安全性の確保などが懸念されます。

まちづくりビジョン

**バラエティ溢れる魅力が混ざり合い
パワーとなるまち・高田馬場**
～人にやさしい都市空間の創出と多様な人々のつながりによる成長～

駅舎・駅前広場 地形を活かした ゆとりある都市基盤整備により
駅からまちへと広がる活気あふれる駅前づくり
● 駅とまちをつなぐ機能の強化

道路・交通 人が主役の ユニバーサルデザインに配慮した
誰もが快適に通行できる 道路づくり
● 多文化交流拠点・高田馬場のシンボル広場の創出 など
「高田馬場駅周辺地区まちづくり構想案」(平成30年12月)



地域の課題解決のために、まちづくり検討組織を立ち上げ、
広域的なまちづくりの検討を進めます

経緯及び予定

平成28年度～ 令和2年度～

高田馬場駅の東側において、
地元主体でまちづくりを検討
学識経験者や鉄道事業者、行政機関等
により検討組織を設立し、
都市基盤について検討を行う

(令和3年1月予定)

**地元の意向を集約するための
まちづくり検討組織 設立**

目的
高田馬場駅周辺の地域特性を活かしたまちの将来像を策定するため、地元組織代表者による検討、意見交換、意向把握を行う

委員
地元組織代表者
・町会、自治会・商店会・まちづくり組織等

検討事項
まちの将来像(案)の検討等

事務局 新宿区

令和3年度～ 令和4年度～

広域的な範囲でまちづくりを検討

資料は、
会議終了後に
公開予定

(仮称)
**高田馬場駅周辺エリア
まちづくり方針策定**

補助第72号線(つつじ通り)の様子



補助第72号線は、新宿駅前から高田馬場駅前を結ぶ補助幹線道路で、昭和21年4月15日に都市計画決定されました。

令和2年9月20日、未整備区間であった大久保通りから職安通りまでが供用開始され、**全線開通**しました。

地元からの要望により、愛称を「**つつじ通り**」と命名しました。

都営副都心線 東新宿駅

都営大江戸線 東新宿駅